

グリッド協議会 第22回ワークショップ パネル討論



パネリスト(敬称略)

白坂純一(野村證券株式会社)

谷口 肇 (三菱UFJ証券株式会社)

根岸史季(日本IBM株式会社)

岸本光弘(富士通株式会社、グリッド協議会副会長)

関口智嗣(産業技術総合研究所、グリッド協議会会長)

2008年1月29日



グリッド協議会の位置付け



Silver Sponsor Membership

WG活動・派遣

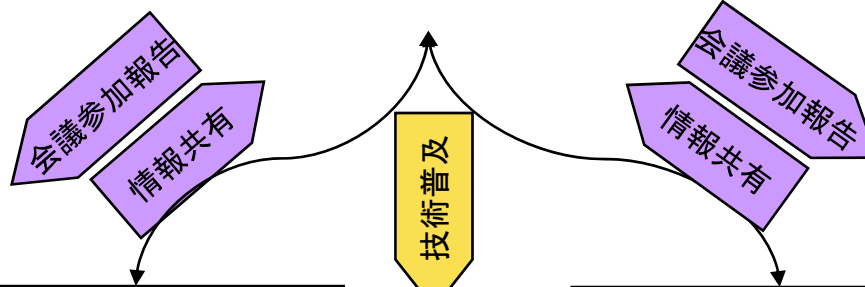
国際的認知



会計業務委託

グリッド研究センター
事務局設置・経費負担

産総研コンソーシアム設置規程



助言等

特別会員

法人会員

個人会員

学生

一般



Grid Consortium

● GridWorld (IDG、グリッド協議会)

▶ 世界初のグリッドに関する展示会

- ◎ 2004年から4回実施
- ◎ 約3000-4000名の参加

▶ 2008年6月24日(火)～25日(水) 予定

▶ 東京国際フォーラム



Grid World





グリッド協議会 Grid Consortium Japan 金融分科会について

1. 現状と.....

- ①欧米投資銀行との差(=金融機関としての実力?)が縮まらない
(逆に開いている)

(広い意味での)マーケットの違い(老齢化、規制、規模..)もあるかも知れないが、
大きな要因として、ITの差がある (と思われる)

- ②IT分野で、特に差が開いていると感じているのは、Grid分野

欧米では、既に3年以上前から取り組み、今や巨大なインフラになって、金融ビジネスを
支えている。

一方、日本では、始まった(始まろうとしている)ばかりのところにいる
(というか、なかなか進展していない)



そこで、金融機関で、Gridに関する情報・ノウハウ共有などを積極的に行て、日本の底上げを図りたい。



グリッド協議会の中に、“金融分科会”を作り、そこで、金融にGridソリューションを適用する際の、様々な課題を議論していければ.....



現在の置かれている状況(遅れている)をうまく利用したい

遅れているからこそ、先人の知恵(欧米の事例)を活用できる

「リスクから始めて....」という王道ではなく、各社の事情(リプレースの時期だとかXX部門の人が積極的だとか)により、SKIPLして進められる

2.目的

(1)情報共有

各社で手探りで試行錯誤するよりも、ある程度情報共有しながら、進める方が効率がいい。

(早く欧米に追い付ける)

小さい池の中で、いがみ合っている、大海の鯨には敵わない
— 先行事例(欧米や日本)をうまく吸収して、自社に生かす
— 組織的な進め方(サーバハギングからの脱却)の共有
等々

→皆で、強くなろう!

(2) 裾野の拡大・標準化

日本の特殊事情(金融機関はIT開発力が弱く、Sier依存が強い)から、Sierにも(金融)Gridに強くなってもらわないと、実構築が難しい。

Lehman Brothersも、標準化に熱心
標準化

→Gridの裾野が広がる

→マーケットから人を集めやすい



Grid Consortium

(3) 他へのリクワイアメント

意見が集まれば、他(ベンダー、国等)へ意見を上げやすい

例えば

ハードウェアベンダーに対して

- USの様に、Grid用にラック単位の製品を出してほしい
- Infinibandの管理機能を強化してほしい

ソフトウェアベンダーに対して

- DBキャッシュ機能を標準で実装してほしい
- 仮想化サーバでもネットワークアクセスでパフォーマンスの落ちないドライバを提供してほしい

国(税制)へのリクエスト

- サーバの台数がケタ違いになるので、IT投資減税してほしい



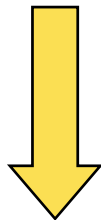
4.実際の議論

各社の事情

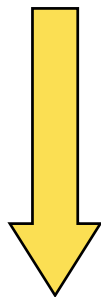
Gridの長所・短所(特性)を認識する



Gridの効果的活用を考える



Grid化の阻害要因(壁)を認識し、対応する
(越える、壊す)



実行する

- アプリケーション特性(FX・リスク計算・クオンツ・Trading...)
 - バッチ型・オンライン(トランザクション)型
- ローケーション(ManageHostとCComputeNode)
 - モンテカルロ/ツリー
- EnterpriseGridiインフラへの昇華? までの階段・STEP

正規化と同じで、どこまでやったらいい(優れている)というものではない

- 組織(Sierも含めて)
- アプリケーションの移行
- 適用システムの順序
 - DC問題(場所)
 - 運用手法
- 技術的課題(スケーラビリティ...)
 - セキュリティ(SOX)
- ユーザー、アプリチーム、経営層....
- コスト・コスト課金

■協力できる部分はあるか?
(共有キャッシュ、SAILミドル? ...)

金融グリッド分科会設立の提案

【スケジュール(案)】

1/29 金融グリッド分科会キックオフ、分科会メンバー募集開始

2/15 第1回分科会開催

分科会幹事選出と推進方法の議論 など

2月下旬～ 設立当初は2週間に1度の割合で分科会を開催

【申込要領】

金融グリッド分科会は、情報の give and takeを基本

金融グリッド分科会への参加を希望される方は、下記情報を記入の上、office@jpgrid.org まで送付願います。

グリッド協議会 金融グリッド分科会への参加を希望します。

氏名:

所属:

会員ID:

提供できる情報:

日本での金融グリッドの普及に向けて 金融グリッド分科会の提案

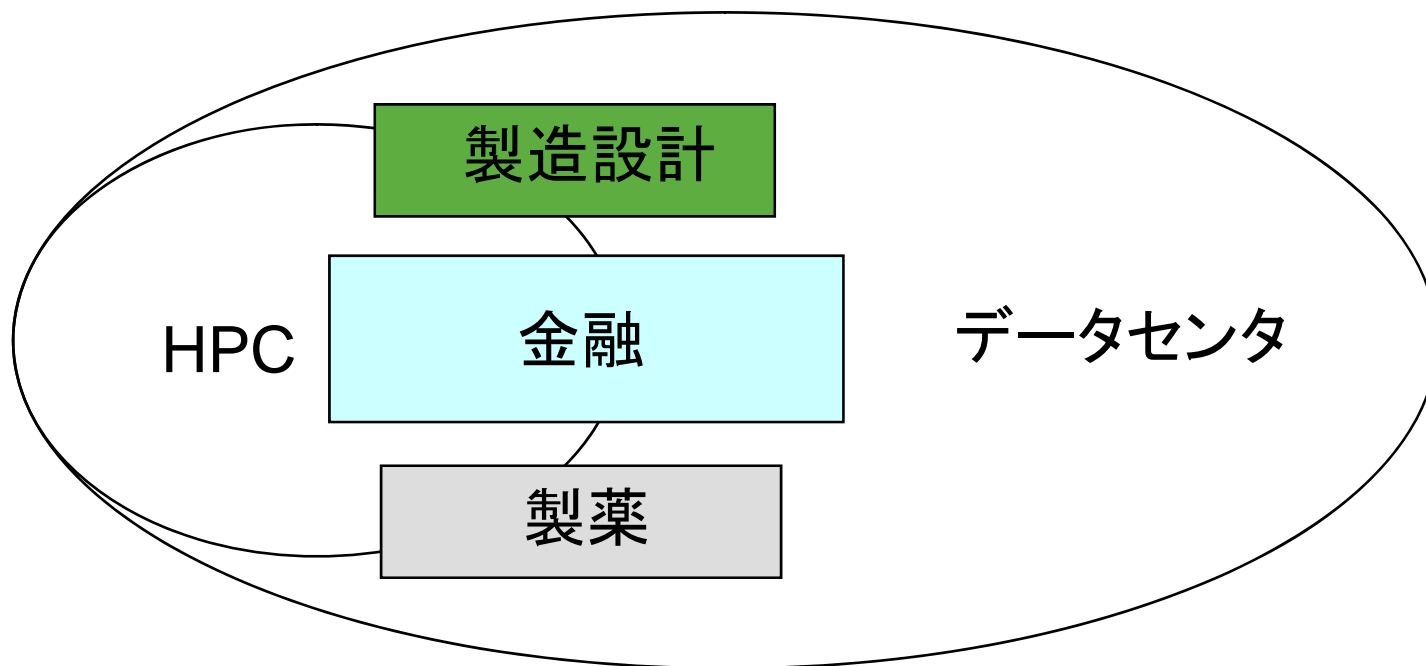
グリッド協議会 第22回ワークショップ

2008年1月29日
東京コンファレンスセンター
岸本光弘 富士通

グリッド技術の普及

アプリケーション主導

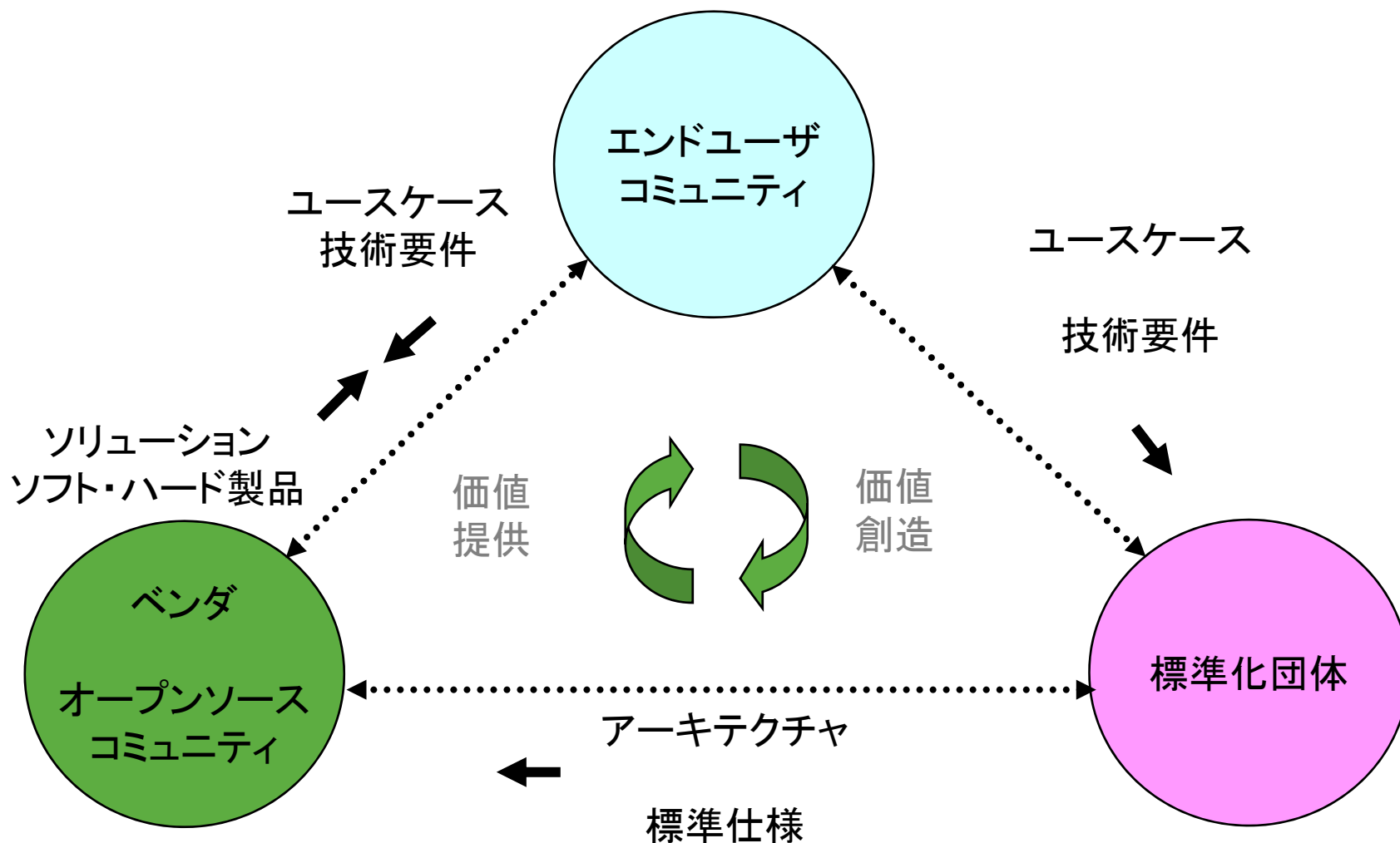
インフラ最適化主導



eScience (1x)

eBusiness (10x)

エンドユーザとベンダ



金融機関の要件ワークショップ (OGF20, 2007年5月、英国マンチェスター)



- 金融機関 (CitiGroupとコンサルタント) が、金融機関の持つ課題・要件を説明
 - 計算とデータの結合
 - 全社グリッドの文化的課題
 - 標準データアクセスAPIが必要
- OGFが関連する標準仕様やWGを紹介
- 金融WGの創設を提案したが実現せず

金融機関ワークショップ (OGF22, 2008年2月、米国ボストン)



- 金融機関(4社)が、経験や課題を説明
 - 大規模計算ジョブとオンライン・トランザクションジョブ
- ベンダ(4社)からも、知見や見解を説明
- 主要な課題の例
 - インフラを共有する上での課題
 - 相互接続性を実現する標準仕様
 - 共有メモリキャッシュのユースケース
 - トランザクションジョブを効率的に扱うグリッド
 - グリッド活用のためのツールと作業手順
 - データグリッド
 - グローバルマネージメント
- 2月27日(水)午前(半日)

- 金融分科会では、日本が先行

金融グリッド分科会への要望